

# GRANDCUBE

Osaka International Convention Center

PRESS

Vol.29 2019 Winter



## SPECIAL INTERVIEW

[公益社団法人 日本将棋連盟会長 佐藤康光 九段]

九×九の盤上の格闘技、将棋。  
その面白さ、奥深さを伝えたい。

The Document GrandCube  
第34回関西こども将棋大会

中之島ビジネスフロントライン  
国立国際美術館



SPECIAL INTERVIEW

# 九×九の盤上の格闘技、将棋。 その面白さ、奥深さを伝えたい。

公益社団法人 日本将棋連盟会長

佐藤 康光 | YASUMITSU SATO

“将棋界のスーパーコンピュータ”の異名を誇り、従来の指し手にとらわれない独創的な作戦で勝負する、佐藤康光九段。長年、トップ棋士として将棋の魅力を伝え、2017年からは日本将棋連盟会長に就任。AIの登場、記録の更新などで日本将棋界が注目されている今、プロ棋士、そして連盟会長という立場から見えてきたことは。将棋の面白さとともに、日本将棋界の課題や展望をお話いただきました。

# 普通に勝つより、二転三転の逆転勝ちが面白い。 今後はAIの活用が、強くなるための要素。

## 指すたびに 新しい発見と喜びがある

——まずは、叡王戦本戦出場、おめでとうございます。佐藤会長は、高校2年生の時に棋士になられましたが、将棋を始められたきっかけは何だったのですか？

小学1年生の時、友人が学校に将棋盤を持って来ることがきっかけです。当時は、友人や父と指したり、本をボロボロになるまで読んだりして将棋を覚えました。2年生の時、地元公民館で行われていた将棋教室に通い始め、4年生になってからは、当時住んでいた京都府八幡市から大阪府枚方市内にある田中魁秀九段の道場に通うようになりました。そのうち、「強くなりたい」「強い人と対局したい」という思いが芽生え、6年生の時、「小学生将棋名人戦」に出場したんです。その大会で全国3位になった時は、うれしかったですね。奨励会に入ったのは、アマチュア四段ぐらいだった中学1年生の時です。この時、本格的にプロの世界を目指そうと決めました。

——佐藤九段にとって、将棋の面白さ、魅力とは何でしょうか？

勝負がはっきりしていて、逆転が多いところです。普通に勝つより、二転三転して、逆転勝ちする対局は見ている人も面白いでしょうし、私自身もその方がうれしく、指していく張り合いがあります。

一局指すたびに自分の課題が見えてくるのも、将棋の面白さだと思います。何十時間、何百時間もかけて考えた局面でも、朝起きてもう一度考えてみると、新しい手が浮かんでくる。なぜそれまで思つかなかっただけなのか、本当に不思議です。それが新鮮ですし、喜びがあります。

見つけた課題をクリアしていくことも楽しいですし、それは強くなる要素だと思います。勉強の方法は、過去のデータを調べたり実戦したり、といろいろあります。しかし、将棋には強くなるためのカリキュラムは存在しませんし、どれぐらいの時間、どんな勉強をすればプロになれるという決まりもありません。棋士は、それぞれが自分の勉強方法で技術を高めて結果を出してきたといえると思います。

今は、AIはどう向き合っていくか、というのも、強くなるための要素のひとつです。強いソフトがどんどん開発されているので、影響を受けている棋士は多いでしょうし、若手棋士になるほど顕著です。

私はAIを活用しませんが、AIは新しい視点を持っています。棋士の間で常識とされていることも、AIにかかるとその認識はひょっとすると違うのでは？と思わされる。そういう意味では、とても新鮮味を感じます。AIの指す手をすべて信じているわけではありませんが、「ひょっとして新しい考え方かもしれない」と自分なりに考えて納得することもあり、将棋の奥深さを改めて感じさせられます。

——時代の変化の中で、日本の将棋界はどのように変わってきたとお考えですか？

対局は、時代の変化とともに変わってきたように思います。例えば、スピードを重視した時代もあれば、中央をいかに厚くするかに重きを置いた時代もあり、少し前までは主導権をいかに握ってアドバンテージを取るかが主流でした。では今、何が主流かというと、「バランス」です。

将棋は「玉」を取られると負けるゲームですから、取られないようにはその周りを固めます。それは、固ければ固いほど得ですし、いかに固めるかもひとつの考え方です。昔は、攻め駒・守り駒をはっきりさせていましたが、最近は、相手も含んで全体のバランスを重視する傾向があり、その中で、攻め駒を突然、守り駒に変身させる方法も見られます。玉も守られるのではなく、さまざまに移動して指揮を執るような雰囲気があります。

研究方法も変わってきていますね。セオリーがない時代は、いかに自分なりの考え方を見つけるかが大事で、ひたすら考えてひねり出すしかありませんでした。私が修業していた時代になると、コンピュータで過去のデータを多少調べられるようになり、現在は、コンピュータが示すいろいろな考え方の中からどのやり方を選ぶか、という比率が高くなっていると思います。コンピュータの考え方には、影響を受けている棋士は多いのではないかでしょうか。「自分の頭の中で考えて勝ち取る」という将棋の本質は昔と同じですが、そこに至るまでの過程はかなり変わっています。

勉強する環境も変化しました。私がプロを目指した頃は、棋士の対局を見て勉強するには、将棋会館に来なければなりませんでした。将棋会館に来ることのできる人、そうでない人の情報量には差があったということです。しかし今は、パソコンで解説付きの対局が見られるので、その差はなくなりつつあると思います。

ファン層の観点で言うと、昔のファンはある程度、将棋のルールを知っていて、実際に将棋を指す人が対局を見していました。今は、「将棋は指さないけれど観る」という「観る将」と呼ばれるファンが増えています。そうした方々の関心の対象は、棋士本人や対局中の食べ物、歴史など多様ですね。また、藤井聰太七段の登場により、女性ファンや藤井七段と同年代の子どもを持つ親御さんなど、ファン層も変わりつつあると感じています。



対局中の佐藤康光九段(右)。相手は豊島将之八段(第76期A級順位戦プレーオフ第2局)  
写真提供:公益社団法人日本将棋連盟



## 世界有数の難解性が将棋の魅力。 その面白さを多くの人に知っていただきたい。

### 将棋の魅力を伝え 伝統文化を守る一翼を担う

—2017年に日本将棋連盟会長に就任されました。日本将棋連盟が担う役割は何でしょうか？

将棋の魅力、面白さを多くの人々に伝える使命があると考えています。日本の将棋は、500～600年前に現在の形が確立されたと言われています。世界には将棋やチェスをはじめ、さまざまなボードゲームがあり、その大半は、盤上の駒数が減る、あるいは増えて終ります。取った駒を再利用できる日本の将棋は、数あるボードゲームの中でも非常に珍しく、そのルールが世界有数の難解性を保っているといえるでしょう。その面白さを多くの人に知っていただきたいと思っています。

また、芸術作品ともいえる将棋盤や駒の製作の技術をはじめ、対局には和室を使い、棋士は和服を着るなど、日本の伝統文化を守り伝える役割も担っています。技術面では、我々プロ棋士が日々、公式戦を行ったり研究に取り組むなどして、向上に努めることは重要だと考えています。

そうした役割を担う一方で、より多くの方々に「将棋という人間同士の戦いを、どのような形でお伝えしていくか」についても考えなければなりません。ありがたいことに近年は、先ほど申し上げた「観る将」をはじめ、新しいファン層が増えています。そうした方々から将棋を指す方々まで、対局の面白さをまんべんなくお伝えする難しさを感じています。

例えば、この一手を指したことで盤上で何が起こっているのかを、初心者の皆さんにどう伝えるか。野球のホームランのように、将棋にもホームランのような手があります。しかし、将棋を指さない方にはそのすごさが分からぬかもしれません。その一手の何がすごいのか。それをうまく伝えて、初心者の方々にもより将棋に関心を持っていただきたい。これからも皆さんのご意見を参考に、アイデアを出していきたいと思います。

—国内の将棋ファンの裾野を広げる一方で、国際普及にも尽力されていますが、これまでどのような取り組みをされましたか？

1999年から3年に一度、「国際将棋フォーラム」を開催しており、次回は2020年に行う予定です。同フォーラムには、海外の強豪の方々を招いて国際将棋大会を行うほか、外国人の皆さんのが楽しめるようなイベントを開きたいと考えています。2年前には、将棋界初の外国人棋士(女流棋士)、カロリーナ・ステンチエンスカさんが誕生

したので、これを機に国際普及に弾みがつけば、と期待しています。

将棋界は囲碁界と違って、海外でトーナメントができるほどの棋士はいませんが、現在は稀に、文化交流を目的に公式戦の海外対局があります。和服で対局することで、現地の愛好家だけでなく、多くの方々に、将棋とともに日本文化も伝えたいと思っています。

—会長の任期中に、どのようなことに取り組みたいとお考えですか？

会長就任に当たっては、日本の将棋界を安定させることを目標に掲げました。それまでは棋士の目線でしか見ていましたが、いざ運営の立場に立つと、今まで気づかなかった課題がたくさんあることを知りました。

ファン層が変わりつつある今、時代の流れに対応しながら将棋の魅力を伝えていくことは大切です。今後は、多様化するファン皆さんに、楽しんでいただけるようなイベントができればいいですね。

いかに将棋が面白いかは棋士が一番よくわかっているので、どの角度からお伝えすればいいのかは理解しています。ただ、具現化するのは難しく、日本将棋連盟や棋士だけで取り組むのには限界があります。これまで同様、地元の将棋愛好家の皆さんのお力を借りできれば、と考えています。

—8月18日、大阪府立国際会議場で「第34回関西こども将棋大会」を開催していただきました。将棋に興味を持っているお子さん、その親御さんにメッセージをお願いいたします。

将棋は勝負事なので、勝つことは大きな喜びです。お子さんに将棋を教えたいという親御さんには、アマチュア同士の対局のようにハンデをつけて、お子さんに勝たせてあげるといいと思います。

子どもは、ある程度指せるようになると、勝つことでやる気を出したり、自分なりに新しい発見をして喜びを感じたりするようになります。そうなると、放っておいても強くなります。

将棋は、ルールさえ覚えれば誰とでも楽しめますし、続けていればいつか必ず勝てるゲームです。また、日本の伝統文化に触れられるといった魅力もあります。自分なりの面白さを発見して、ぜひ、続けてほしいと思います。

(インタビュー日:2019年9月30日)

### 佐藤 康光 *Yasumitsu Sato*

1969年10月生まれ、1987年にプロ入り。竜王戦1組在位通算24期(竜王在位1期を含む)、A級在位通算23期(名人在位2期を含む)、2017年7月28日、通算1000勝を達成。最優秀棋士賞、優秀棋士賞、最多勝利賞、殊勲賞、技能賞、名局賞等、数多くの受賞歴がある。17年4月、将棋界では当時最年少で紫綬褒章を受章。11年4月～17年1月日本将棋連盟棋士会会長を務め、17年2月から現職。趣味はバイオリン、ゴルフ。著書に「康光流現代矢倉I～III」(日本将棋連盟)、「新手への挑戦 佐藤康光小伝」(NHK出版)、「長考力1000手先を読む技術」(幻冬舎)などがある。

# The Document GrandCube #04



第34回関西こども将棋大会 8月18日(日)

初心者から有段者まで  
子ども棋士が  
“盤上の格闘技”に挑む

暑さ厳しい8月18日、「第34回関西こども将棋大会」が開催されました。当日は、関西一円からアマチュアの小中学生約600人が集結。優勝をかけて、盤上で熱戦を繰り広げました。



## 幅広いレベルの 子ども棋士が参加

朝9時半、会場の3Fイベントホールには、関西各地から集まったアマチュアの小中学生と、その保護者の方々が集まっていました。これから始まる対局に向けて気合十分の子どももいれば、お祭りを楽しむかのようにはしゃぐ、小さな子どもの姿も見られます。

本大会には、初心者から腕に覚えのある子どもまで、幅広いレベルの子ども棋士が

集結。過去大会の参加者の中には現在、プロとして活躍している棋士もあり、第27回大会には、史上最年少プロ棋士の藤井聰太七段が参加し、見事優勝。本大会からも、未来の将棋界に旋風を巻き起こす棋士が誕生するかもしれません。

10時に開式が宣言されると、主催の朝日新聞社を代表して大阪本社販売局流通開発部宣伝担当次長の有馬誠生様からのあいさつがあり、その中で、谷川浩司九段が、公式戦通算1324勝(加藤一二三・九段に並ぶ歴代

# The Document GrandCube #04 第34回関西こども将棋大会



3位タイ)を達成したという当日18日付けの朝日新聞掲載記事が紹介されました。続いて、本大会の審判長、脇謙二八段が登壇。将棋を始めた小学6年生の夏休みの思い出を語るとともに、「本大会が思い出の一になるようがんばってほしい」と参加者を激励されました。その後、審判棋士の紹介とルール説明が行われ、対局がスタート。

## 決勝進出をかけ対局に挑む

関西こども将棋大会に参加できるのは、中学生以下のアマチュアのみ。対局はクラス別で行われ、二段以上の中学生はAクラス、初段から4級はBクラス、5級以下はCクラスで、B・Cクラスにはそれぞれ小学生の部・中学

生の部が設けられています。小学生以下の初心者も、「親睦クラス」で対局が可能。これまで、未就学児が参加したこともあるそうです。

A～Cクラスの子どもたちが予選リーグで対局するのは3局。2勝した時点で決勝トーナメント進出が決定し、2敗すると敗退となります。持ち時間は1局当たり1人25分とあって、どの子どもも対局が始まると素早く指していくますが、終盤になると考え込む姿も。対局エリアの外には、勝負の行方を手に汗握りながら見守る、保護者や引率者の皆さん姿が見られました。

11時を過ぎると、決勝トーナメント出場者が次々に決まっていきます。Cクラスで対局した、京都文教中学校将棋部の植村さん(中3)は、顧問の小足先生の引率で、8人の部員と参加。部内で唯一、決勝トーナメント進出を決めま

した。「この大会に出場したのは今回が初めて。強い相手との対局で、緊張のあまりミスをして危ない局面もありましたが、日々の練習を生かせたと思います」と振り返ります。植村さんが将棋を始めたのは、中学校に進学してから。「小足先生がわかりやすく教えてくださるので、楽しみながら力をつけることができました。将棋はずっと続けたいです」と話してくださいました。

吹田市豊津中学校囲碁将棋部は、本大会に毎年参加している常連校。今年は、10人の部員が参加しました。「毎年、がんばっているので応援したい」と松田先生。今年は将棋初心者の部員が、決勝トーナメントに駒を進めました。

三重県伊勢市からは、小学3年生の山田君がエントリー。Bクラス小学生の部で対局し、2連勝して決勝トーナメント進出を決めました。

山田君が将棋を始めたのは、小学1年生の時。「お父さんのiPadの将棋ゲームを見て、五角形の駒に漢字が書いてあるのがかっこよくて面白そうだと思い、近所の道場に通うようになりました」。昨年は、本大会初参加ながら、Cクラスの決勝トーナメント1回戦まで駒を進めたとのこと。「今年は1クラス上の対局ですが、勝ち進みたい」と意気込みを語ってくれました。





## プロ棋士による 指導対局を実施

決勝トーナメントと並行して、負けた子どもたちを対象に、プロ棋士による指導対局も行われました。憧れのプロ棋士の一手一手を食い

入るように見つめるちびっ子たちの表情は真剣そのもの。将棋の難しさを知るとともに、面白さに目覚めた子どももいることでしょう。

対局のほかに、グッズを販売するブースも用意されており、プロ棋士の扇子や著書などを買い求める親子の姿もありました。また、「第77期将棋名人戦七番勝負全記録」や

藤井聰太七段のマグカップなどが当たる抽選会も実施。お目当てのグッズを当てて、喜ぶ子どもたちの姿も見られました。

15時からは表彰式が行われ、1~3位の子どもたちが盾や記念品を受け取りました。この中から将来、プロ棋士が誕生するかもしれません。

（ 参加者が増えても対応できる広さで、運営もスムーズ。 ）

日本将棋連盟と朝日新聞社主催の「関西こども将棋大会」は、今年で34回目を迎えるました。以前は、大阪市内の他施設で行っていましたが、交通の便や費用面を検討し、5年ほど前から大阪国際会議場を利用しています。

大阪国際会議場は京阪中之島駅からすぐ、という好立地です。参加者の方々も来やすく、川が流れ、高層ビルが建ち並ぶ中之島独特の景観も魅力です。日本将棋連盟の関西将棋会館から近いことも、大阪国際会議場を選ぶ決め手になりました。

子どもの将棋大会では、会場の広さも重要です。会場が狭いと、保護者の方と対局中のお子さんとの距離が近くなり、子どもたちが将棋に集中できないからです。大阪国際会議場は広さに余裕があるので、保護者と対局エリアを完全に分けることができ、

大会の運営もスムーズになりました。この数年、藤井聰太七段の登場で将棋が注目され、熱心な保護者の方々が多く会場に来られるようになりましたが、今後、参加人数が増えて、この広さがあれば十分対応できると考えています。

将棋の魅力は、最終的に頼れるのは自分だけ、というところです。チームプレーでは、監督の判断が勝負を分けることもあります、将棋は個人競技です。自分の考えで指し、悪手を指したら、その責任は自分で取るしかありません。その分、個性を生かせる競技と言えますね。

将棋で勝ち続けることは無理ですが、負けることで強くなれるのも将棋の魅力です。強い棋士との対局で負けたとしても、そこからさまざまな手を学べるからです。

そんな将棋の面白さを、もっと多くの

お子さんに知ってもらいたいと考えています。現在、日本将棋連盟が認定するアマチュアの指導員の協力を得て、将棋を覚えたばかりのお子さんに大会への参加をおすすめしています。本大会が将棋ファンの裾野を広げると同時に、お子さんたちが将棋に興味を持つきっかけになれば、と願っています。



公益社団法人 日本将棋連盟 事務理事  
脇 謙二 八段

# EVENT INFORMATION

グランキューブ大阪で今後開催予定のイベントをご紹介します。

## COMING-UP [開催予定]

2020. 2/21-22

### 第3回

### 日本サルコーマ治療研究学会(JSTAR)学術集会

肉腫診療クロニクル～過去を辿り、そして未来へ～



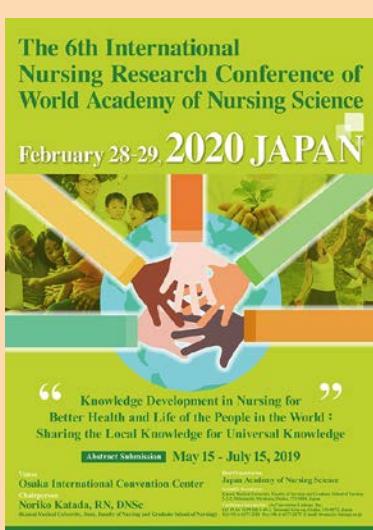
日本サルコーマ治療研究学会(JSTAR)は、近年肉腫に対する新規治療薬や重粒子線治療などが臨床の場に登場するようになってきたことから、肉腫に対する多診療科による集学的アプローチの重要性が益々増してきているという背景のもと、診療科の枠を超えて肉腫診療・研究に係る全ての医師・医療スタッフ・研究者そして患者さんを含む方々が集い、わが国と世界の肉腫診療・研究の発展に貢献することを目的として2017年7月に立ち上りました。多くの方々に学会にご参加いただけますよう心よりお願い申し上げます。

[第3回日本サルコーマ治療研究学会(JSTAR)学術集会 会長 上田 孝文]

2020. 2/28-29

### The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science (第6回世界看護科学学会学術集会)

看護学の研究と実践を議論する国際学会



テーマは、“Knowledge Development in Nursing for Better Health and Life of the People in the World: Sharing the Local Knowledge for Universal Knowledge”です。看護が、世界の人々の健康と生活の向上に、どのような役割を果たせるのか。700件を越える研究発表、招聘講演やシンポジウムを通しての活発なディスカッションにより、世界の看護の新たな知識体系が生まれ出され発展することを楽しみにしています。

[関西医科大学看護学部 教授・事務局長 近藤 麻理]

イベントカレンダー  
<https://www.gco.co.jp/event/>



2020. 2/25

### 省エネルギーの現状と課題、取組事例を紹介します。

近畿経済産業局では事業者の省エネルギーの取組を推進することを目的に、「エネルギー使用合理化シンポジウム in 関西」を開催します。

政府が2018年7月に策定した「第5次エネルギー基本計画」では、「長期エネルギー需給見通し」(エネルギー믹스)で示された省エネルギーの目標を達成するため、さらに徹底した省エネの推進を求めています。

本シンポジウムでは、基調講演とあわせ、新しい発想を取り入れて省エネを進めている事業者・団体などの事例を紹介し、省エネ推進に向けた新たな展開へのヒントをご提供します。



[近畿経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課 森井 康生]

2020. 2/29

### 会員のつどい アロマフェスタ2020 in 大阪

楽しいコンテンツが盛りだくさんのアロマイベント

世界最大のアロマテラピー団体AEAJが主催する、年に一度のアロマテラピーのイベント。

知識を深めるセミナーや、人気アロマブランドが集結するお得なセール、アロマハンドトリートメントの無料体験、嗅覚力測定コーナーなど、様々な角度からアロマの魅力を体験できます。

香りの教育「香育」をしながらお子様をお預かりするキッズスペースもありますので、親子でアロマな一日をお楽しみいただけます。

※セミナー、ハンドトリートメント、キッズスペースは事前申込制

※セールはAEAJ会員の同伴、またはLINE@の事前登録が必要



[公益社団法人 日本アロマ環境協会 企画部 青江]

10/22[火]9:30~

## ～「イケフェス大阪(生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪)」プレイベント～ 「グランキューブ大阪ガイドツアー＆中之島建築リバークルーズ」実施



10月22日(火・祝)、毎年秋の週末に大阪の魅力的な建築を一斉に無料公開する日本最大級の建築イベント「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪(通称:イケフェス大阪)」の弊社参加プレイベントとして、「グランキューブ大阪ガイドツアー＆中之島建築リバークルーズ」が実施されました。

当日は、444名ものご応募の中から抽選で選ばれた36名の方が参加(倍率約11倍)。参加者の皆さんには、大阪市立大学大学院准教授倉方俊輔先生の案内に耳を傾けながら、前日の雨も上がった好天の青空の下、約3時間のプログラムを心行くまで楽しまれました。

### ■参加された方々の感想(一部)

- ヘリポートからリバーカルーズまで大阪の魅力を幅広く堪能できるプログラムで素晴らしかったです。進行も非常にスムーズでした。ありがとうございました。(20代・男性)
- 大阪愛にあふれたトークと歴史・建築・文化等様々な視点から大阪・中之島を知ることができてとても楽しい時間を過ごすことができました。有難うございました。(30代・女性)
- 会議場の建物自体の説明は日頃普通に利用するだけでは気づかないようなことばかりでおもしろかったです。リバーカルーズも最高でした。(40代・男性)
- こんなに値打ちあるツアーに当選できて本当に良かった!11倍とは!ありがとうございました!倉方先生の大坂愛に感謝!グランキューブのスタッフの皆さまありがとうございました!(50代・男性)

### ■当日のスケジュール

案内:大阪市立大学大学院准教授 倉方俊輔氏

「グランキューブ大阪ガイドツアー」

9:30スタート

- ①1階プラザ 黒川紀章氏の建築思想と建物の構造について
- ②2階ホワイエ
- ③3階イベントホール
- ④10階ホワイエ、1001～1003会議室
- ⑤12階特別会議場
- ⑥屋上ヘリポート

「中之島リバークルーズ」

11:00スタート

⑦大阪国際会議場前港から「どうじま(一本松海運)」に乗船し、中之島の建築を見るリバークルーズ

⑧大阪国際会議場前港帰港

12:20終了・解散



8/22[木]

## 大阪府警察本部警備部長より感謝状を受贈

6月28日(金)・29日(土)のG20大阪サミット開催に伴う警備活動への積極的な協力に対し、大阪府警察本部警備部長より感謝状をいただきました。弊社では、今後とも大阪の発展と国際化に貢献するべく、地域社会と協力してさまざまな活動に取り組んでまいります。



9/17[火]

## 防災訓練実施

9月17日(木)、9月の防災月間に合わせて、大阪国際会議場スタッフとパートナー企業各社スタッフとの合同による防災訓練が実施されました。

大阪国際会議場では年2回防災訓練を実施していますが、当日は、緊急事態発生時に備えて日頃から組織している自衛消防組織の役割やポジションに基づき、チームで個々のフォーメーションを確認。お客様の誘導や救護、また初期消火のための放水訓練など、いざ!という時に、迅速かつ確実な動きができるよう訓練に取り組みました。



# NAKANOSHIMA BUSINESS FRONTLINE



## 現代美術の紹介を主軸に展開。 開館を控える大阪中之島美術館とも協働し、 中之島を文化薫る街に。—国立国際美術館—

中之島の著名企業・施設を大阪国際会議場社員が訪問し、その歴史や活動を紹介する「NAKANOSHIMA BUSINESS FRONTLINE」。第4回は、現代美術を中心に紹介する一方で、近隣の文化施設とともに、文化・芸術ゾーンとしての中之島の魅力を発信している国立国際美術館の中井康之副館長兼学芸課長に、営業部営業課長の内田和宏がお話を伺いました。



### 1970年大阪万博跡地に誕生

**内田** このたびは、お時間を頂戴し、ありがとうございます。国立国際美術館様は、古典や近代美術ではなく、現代美術を中心に紹介されていますが、貴館の成り立ち、これまで果たしてこられた役割をお教えいただけますか？

**中井** 当館は、1970年に開催された大阪万博の跡地の使い道について、大阪府・市・国、地元自治体の4者が話し合った結果として、東京国立近代美術館、京都国立近代美術館、国立西洋美術館に次ぐ4館目の国立美術館として1977年に開館しました。開館当初から方向性は変わらず、新しいタイプの美術を紹介することを主としています。今は多くの媒体があり、情報が伝わりやすい時代ですが、美術は目の前で見ないと作品の本当の価値は分かりにくい。当館では、海外

で評価されている作家の作品を実際に見ていただき、その魅力をお伝えする、という役割を果たしてきたと考えています。

### 一流の現代美術を紹介

**内田** 個人的には、「アンドレアス・グルスキーエン」「ヴォルフガング・ティルマンス展」、「トラベラー：まだ見ぬ地を踏むために」や、クリスチヤン・ボルタン斯基の展覧会が印象に残っていますが、最近は、どのような作品が主流ですか？

**中井** 近年は、身体表現を使った“パフォーミングアーツ”が増えていますね。当館の開館40周年を記念した「トラベラー：まだ見ぬ地を踏むために」では、その前年度に購入したパフォーミングアーツを紹介しました。購入とはどういうことかというと、シナリオなども含めて作品を買ったということです。期間中は、

毎日パフォーミングアーツを行うことを原則としたので、30人前後のパフォーマーを募り、作家が送り込んだ先生に演技指導をしてもらいました。

**内田** それは大変興味深く面白いですね。

**中井** ありがとうございます。現代美術の展覧会は集客が伸びないというのが定説だったのですが、今年開催した、現代芸術家・ボルタン斯基の展観は予想を上回る5万人を集客できました。現代美術に主軸をシフトしても営業的に難しくなってきたのかな、と感じられる出来事でした。



**内田** 現代美術は、中井副館長のご専門ですね。

**中井** はい。もともと作家志望でしたが、多摩美術大学に現代芸術専門の学科ができると知り、進学を決めました。卒業後は、就職、大学院を経て、兵庫県西宮市の大谷記念美術館に学芸員として入りました。当時の美術館は近代美術の紹介が中心でしたが、現代美術がようやく紹介されるようになった時期もあります。大谷記念美術館では、現代美術の試験的な展示を行っていたので、それが評価されて当館に採用されたのだと思います。多摩美術大学では、現代美術の理論やその展示方法を学びましたが、それを生かせる環境がようやくできてきたな、と感じています。

### 協同で中之島を発展させる

**内田** 2021年度には大阪中之島美術館の開館が控えています。また、今年3月に行われた「中之島文化ネットワークを考えるラウンド

テーブル」\*では、「この30年の中之島の発展ぶりはすごい」というご意見もありました。中井副館長は、中之島の魅力や可能性をどのように感じていらっしゃいますか？

**中井** 文化薫る街として成立しつつあると感じています。特に、大阪市立の美術館ができるのは喜ばしいことです。というのも、日本画には東京と京都の画壇があり、そして大阪画壇もあるのですが、大阪画壇に関しては本もあまりなければ、展覧会も滅多に開催されていません。なぜなら、地元に近代美術を紹介する美術館がないからです。大阪府は、都道府県立の美術館がない唯一の地方自治体ですが、大阪中之島美術館が完成することによって、地元の美術を紹介する地場ができる、と期待しています。

すでに町の基礎体力はできているので、今後はいい方向に進んでいくのではないかでしょうか。中之島の方々にも、希望を持って最善のパフォーマンスで街づくりに関わっていく、という意気込みを感じます。

**内田** 今後は、どのような展開をお考えですか？

**中井** まずは、大阪中之島美術館との協同です。例えば、両館で鑑賞すれば、世界の近現

代美術を一通り観られるようなメニューも可能です。また、大阪シティバスとも協同し二館共通チケットを発行すれば、多くの人に来ていただけだと思います。さらには訪れた

方々の需要に応え 中井康之副館長兼学芸課長

られるような飲食店や施設ができることで、街全体が発展すると思います。

**内田** それは、弊社のMICE事業にも通じるものがあります。

**中井** 大阪国際会議場さんともぜひ、連携したいと思っています。大規模な展覧会のイベントをするには、数百名規模のキャバシティーが必要だと考えています。その際は当館からのアクセスも良いので、ぜひ会場をお借りしたいと思います。

**内田** それはうれしいことです。弊社もぜひ、協力させていただきたいと思います。今後とも、よろしくお願ひいたします。

国立国際美術館

中井康之副館長兼学芸課長

されるような飲食店や施設ができることで、

街全体が発展すると思います。

内田 それは、弊社のMICE事業にも通じるものがあります。

中井 大阪国際会議場さんともぜひ、連携

したいと思っています。大規模な展覧会のイベン

トをするには、数百名規模のキャバシティー

が必要だと考えています。その際は当館からの

アクセスも良いので、ぜひ会場をお借りしたい

と思います。

内田 それはうれしいことです。弊社もぜひ、

協力させていただきたいと思います。今後

とも、よろしくお願ひいたします。

株式会社大阪国際会議場  
営業部 営業課長 内田和宏

\*2019年3月、アートエリアB1で開催。中之島に拠点を置く文化施設が集まり、中之島における文化ネットワークのあり方について話し合った。

「国立国際美術館」の由緒は、1970年に開催された大阪万博にさかのぼる。シンボルゾーンの一角に、京都大学の川崎清先生が設計を手がけたモダンなミュージアムが建設された。「太陽の塔」を含むテーマ館、お祭り広場などとともに国際博覧会の中核となる施設であり、「万国博美術館」と命名された。

万国博が開催された半年の間、「調和の発見」をテーマに掲げる「万国博美術展」が開催された。館内は「創造のあけばの」「東西の交流」「聖なる造形」「自由への歩み」「現代の躍動」と題する5つのコーナーから構成された。

新石器時代の岩壁画に続き、シュメール、アッシリア、エジプト、ギリシア、ローマ、中国など古代文明の所産、ガンダーラや敦煌の仏像、正倉院の御物などが展示された。日本美術では、雪舟、狩野永徳、長谷川等伯、俵屋宗達、尾形光琳、宮本武蔵、池大雅、葛飾北斎、安藤広重、伊藤若冲の作品、西洋美術では、レンブラント・ターナー、ドランク、モネ、セザンヌ、ゴッホ、ピカソの絵画などが陳列された。

近現代も充実していた。岸田劉生、小出橋重、藤田嗣治、吉原起する。



大阪万博(EXPO'70)開催当時の万国博美術館(写真奥)。  
手前は万国博ホール。出展:「万国博記録写真集」(1970年  
万国博グラフ社刊) [図版提供:橋爪紳也コレクション]

「国立国際美術館」は中之島へと移転を果たす。私はこの美術館と一緒に、「人類の進歩と調和」という大阪万博の主題と、美術館に託された「調和の発見」と、美術館に託された「調和の発見」という大きな

その後、施設の老朽化に応じて、博覧会終了後、万国博美術館の建物を転用するかたちで「国立国際美術館」が開館する。命名にあつて「国際」を冠したのは、国際博覧会の記憶を次世代に継承したいという想いがあつたからだろう。

その後、施設の老朽化に応じて、「国立国際美術館」は中之島へと移転を果たす。私はこの美術館と一緒に、「人類の進歩と調和」という大阪万博の主題と、美術館に託された「調和の発見」という大きな

橋爪紳也 Shinya Hashizume

大阪府立大学研究推進機構特別教授  
大阪府立大学観光産業戦略研究所長

中之島 トリビア

調和の発見  
千里から中之島へ

NAKANOSHIMA TRIVIA

第4回



# PLAYBACK GRANDCUBE

2000年の開業から来年で20周年を迎える大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)。4回に渡って過去20年間を振り返る本連載の最終回は、直近5年間の2014年から2019年の歩み。平均来館者は今や174万人を超え、IEEEやG20大阪サミットシェルパ会合などの第一級の国際会議、国内の重要会議やイベント、また人気アーティストのコンサートなど、日々、“世界の人・モノ・情報が行き交うグランキューブ大阪”。来年迎える20周年を契機に、“アジア有数の都市型MICE施設”として、ここ中之島から世界へ向け、さらに多種多様な情報を発信してまいります。



## 2018年1月(平成30年)

2025年「大阪・関西万博」誘致に向け

### 「いのち輝く未来社会のデザインシンポジウムinおおさか」開催

2018年1月18日、大阪府／大阪市／2025日本国博覧会誘致委員会／公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構の主催による「いのち輝く未来社会のデザインシンポジウム in おおさか」が大阪国際会議場にて開催され、2025年「大阪・関西万博」の誘致に向け、行政、企業、学会の各代表者が一堂に会しました。同年秋の11月24日、パリで開催された博覧会国際事務局(BIE)総会において、2025年国際博覧会(万博)の大阪・関西(日本)での開催が決定。大阪国際会議場は、誘致促進に向け年初早々に開催された重要会合の会場として、その役割を果たしました。



コーディネーターを務めた京都大学iPS細胞研究所所長・山中伸弥教授



各界の代表者によるパネルディスカッション

(出展/写真提供:大阪府WEBサイト)

#### EPISODE 01

#### 業界第一級の国際会議「IEEE」が2015年と2019年に開催

2015年12月14日～18日の5日間、米国電気電子学会制御システムソサイエティ(IEEE CSS)が主催する制御システムに関する第一級の国際会議「The 54th IEEE Conference on Decision and Control」が、世界中の研究者を集めて大阪国際会議場で開催されました。同年10月27日～30日には「IEEE Global Conference on Consumer Electronics」、そのわずか4年後である今年3月23日～27日にはヴァーチャル・リアリティに関するトップカンファレンス「IEEE VR 2019」と、この4年間に「IEEE」を冠した最先端の国際会議が3度開催されました。



#### EPISODE 02

#### 日本初!逆輸入型ジャパンアニメイベントが開催

2018年10月6日・7日の2日間、日本からも数多くのファンが集結するカナダ最大級のアニメイベント「Anime Revolution」がおくる新感覚のアニメイベント「International Fan Festival Osaka 2018 (IFF)」が開催されました。大阪は世界で人気のジャパンアニメイベントが逆輸入された日本初の会場となりました。



出典:「グランキューブ便り」第24号

## 2014-2019年

### 年間平均来館者174万人突破

#### 【主な催事】

- 2014 7/28-8/1 The Joint Annual Conference of the JSMB & the SMB 2014 Osaka
- 10/7 関西ワールドマスターズゲームズ2021の集い
- 2015 12/14-18 The 54th IEEE Conference on Decision and Control
- 2016 7/5-8 16th International Conference on Computing in Civil and Building Engineering
- 12/11-16 26th COLING 2016
- 2017 4/17 インターナショナルな食フォーラム I.W.F.～関西・大阪文化力会議2017～
- 6/12 復興フォーラム in 大阪
- 2018 1/18 「いのち輝く未来社会のデザイン」シンポジウム in おおさか
- 10/28-11/2 The 9th International Conference on Multiscale Materials Modeling
- 2019 3/22-27 IEEE Virtual Reality Conference 2019
- 6/11 海洋プラスチックごみ問題から考えるSDGsシンポジウム
- 6/25-27 G20大阪サミット第3回シェルパ会合
- 9/16-20 The 55th Annual Meeting of ISO/TC 106 Dentistry Osaka
- 10/1-2 The Japan Society of Hepatology International Liver Conference 2019

#### 【主なコンサート】

- 2014 7/17-18 KAT-TUN LIVE TOUR 2014 come Here
- 10/14-16 NMB48 4th Anniversary Live
- 12/23-24 GACKT 神威楽園2014 マトメナ祭
- 2016 12/8 番組40周年記念 第6回「徹子の部屋」コンサート 2016
- 2017 12/13 乃木坂46 アンダーライブ 全国ツアー2017～近畿・四国シリーズ～
- 2018 10/1-2 おーいお茶 ゆず「フレッシュLIVE」
- 10/27 きゃりーぱみゅぱみゅ JAPAMYU HALL TOUR 2018 “星屑のCHERRY MARTINI”
- 2019 3/15-16 Keai'i Reichel Japan Tour 2019
- 8/8 TOYOTA presents AKB48 チーム8全国ツアー～47の素敵な街へ～『大阪府公演はエイトの日!グランキューブ祭!2019』
- 10/23 CYNDI LAUPER ~デビュー35周年 Anniversary Tour~



#### （電車）

- 京阪中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」(2番出口)すぐ
- JR大阪環状線「福島駅」から徒歩約10分
- JR東西線「新福島駅」(2・3番出口)から徒歩約10分
- 阪神本線「福島駅」(3番出口)から徒歩約10分
- 大阪メトロ「阿波座駅」(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩約15分

#### （バス）

- JR「大阪駅」駅前バスターーミナルから、大阪シティバス(53系統 船津橋行)または(55系統 鶴町四丁目行)で約15分、「堂島大橋」バス停下車すぐ
- シャトルバスが、「リーガロイヤルホテル」とJR「大阪駅」桜橋口の間で運行しており、ご利用いただけます(定員28名)
- 中之島ループバス「ふらら」で地下鉄・京阪「淀屋橋駅」(4番出口・住友ビル前)から約15分

## 株式会社 大阪国際会議場

OSAKA INTERNATIONAL CONVENTION CENTER CORP.

〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番51号  
Tel.06(4803)5555(代表) Fax.06(4803)5620



GRANDCUBE PRESSは、  
地球にやさしい広報誌。  
この印刷物は環境に配慮した  
植物油インクを使用しています。